



6月11日(木曜日)3期目の任期開始にあたり
市職員に迎えられる栗市長

ごあいさつ

平成27年7月6日

6月10日から3期目の任期がはじまりました。改選後、はじめての6月議会定例会では議員の皆さんの顔ぶれも変わり、新鮮さの中にも緊張感をもって臨み、改めてこれからの4年間、気を引き締めて頑張らなければと思っております。

議会の一般質問にもありましたが、野々市市の「まち ひと しごと創生総合戦略」の策定について6月8日に推進会議を開催いたしました。これまでは「産学官」の連携がさまざまなところで取り上げられてきましたが、今回は「産学官金労言」の連携ということで「金」は金融、「労」は労働界、「言」は地方の状況をよく知っているマスコミ、の皆さんにもメンバーとして参加をいただきました。どのような連携ができるのか、野々市ならではの取り組みについて考えていただき10月の策定をめざしております。

7月の全戸配布に「ののいち創生「選ばれるまち・ののいち」を実現する！」と題した人口推移を示したパンフレットをいれました。これは「まち ひと しごと創生総合戦略」をたてる前提として人口ビジョンを策定する必要があるからです。野々市の具体的な将来の人口の変化についてわかりやすく示してあります。あまり難しく考えず、将来のイメージをもっていただき、なおかつそのイメージを明るく楽しくするためにどうすればよいかというアイデアを市民の皆さんからいただければと思っております。

これらのことを受け、7月25日には金沢工業大学で「日本一楽しいまち・野々市市」を実現する！」と題した市民フォーラムを開催いたします。多くの市民の皆さんの参加をお待ちしております。

今回の市民フォーラムは金沢工業大学の主催で行われますが、野々市市が他の自治体より特色が強く表れることとして、大学との連携があります。13.56平方キロメートルという非常にコンパクトな面積のなかに、これだけの大学がそろい、研究の領域だけでなく学生自身も市の防犯協会と協力した活動をしたり、市の科学的な講座や行事にも企画段階から積極的に関わったりする取り組みは他の自治体にはありません。大学連携ではトップランナーであり、市民協働のまちづくりが進んでいるのだと大変うれしく思っております。

夏本番を迎え、今年も8月1日、2日は「野々市じょんからまつり」が開催されます。先日の実行委員会でも、いい顔でまつりをやりましょう、とごあいさつをさせていただきました。まつりに関わる方、また、会場に来られる方が「笑顔」になれるそんな雰囲気のみまつりであり続けてほしいと願っております。

じょんからまつり会場で多くの「笑顔」の皆さんにお会いできることを楽しみにしております。